



生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院



日本医療機能評価機構

(財)日本医療機能評価機構認定病院

医療法人徳洲会

大和徳洲会病院
YAMATO TOKUSHUKAI HOSPITAL

病院
案内



大和徳洲会病院の理念

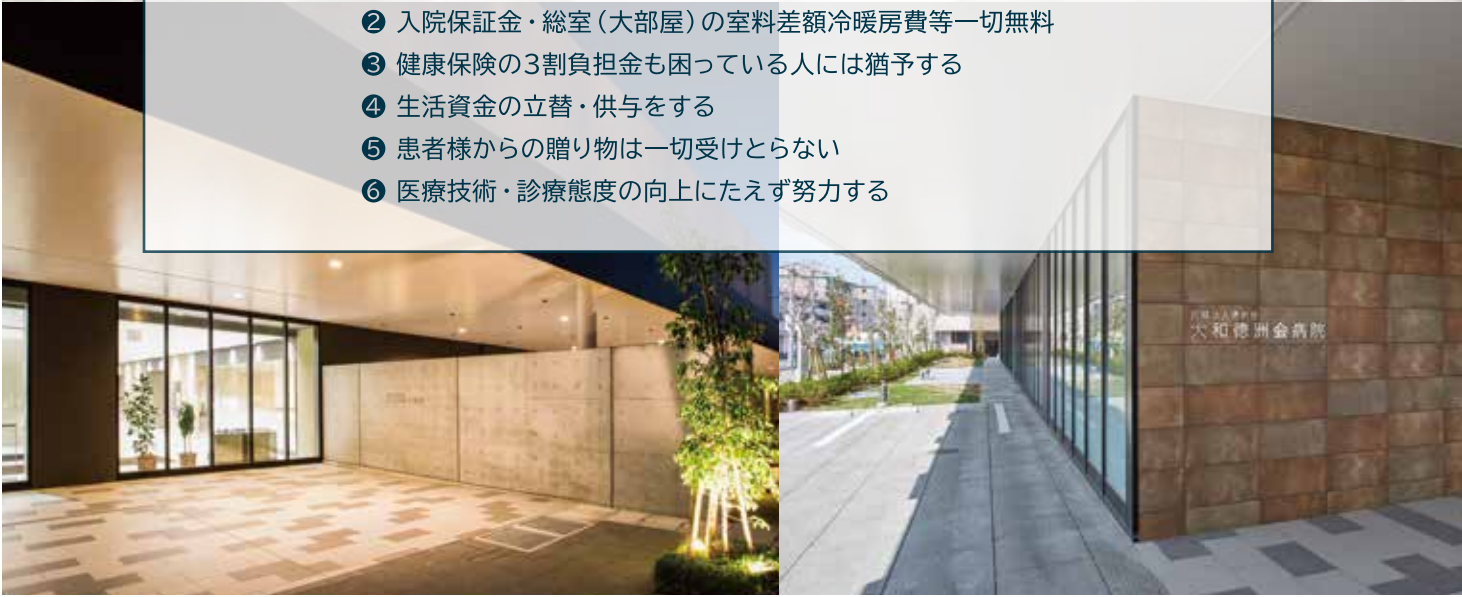
私たちは“生命だけは平等だ”を基本理念とし、
皆様に最善の医療サービスを提供できるよう努力します。

生命を安心して預けられる病院

健康と生活を守る病院

理念の実行方法

- ① 年中無休・24時間オープン
- ② 入院保証金・総室（大部屋）の室料差額冷暖房費等一切無料
- ③ 健康保険の3割負担金も困っている人には猶予する
- ④ 生活資金の立替・供与をする
- ⑤ 患者様からの贈り物は一切受けとらない
- ⑥ 医療技術・診療態度の向上にたえず努力する



基 本 方 針

- ・ 年中無休・24 時間オープンの救急医療を提供し、いつでも誰もが最善の医療サービスを受けられるように努力します。
- ・ 適切な情報の提供、十分な説明と同意を心がけ、患者様の意志と人権を尊重した医療サービスを提供します。
- ・ 病気の治療のみではなく、疾病予防や健康増進を推進します。
- ・ 患者様からの贈り物を一切受け取らないことを徹底し、公平な医療を提供します。
- ・ 診療・看護・介護の透明性を確保し、地域・社会に開かれた病院づくりを目指します。
- ・ 医療技術、診療態度の向上に絶えず努力し、根拠に基づいた医療を提供します。

やさしく親切な対応。
弱い立場の人の力になる。
前線から逃げない。

ご挨拶

救急医療の現場では患者さんもスタッフも救いの手を待っています。私たちは救急の現場からの求めを断らない、やさしい最初の砦になります。

開院から40年以上が経ち、当院で生まれた方が今はお子さんと親子で通院いただいています。大和市の主力病院として患者さんの、そしてスタッフのお互いのお手本となる医療を実践していきます。常に自分をみつめ、前線から逃げていないかを振り返り軌道修正をします。毎日の心がけをたいせつにしていまいます。



大和徳洲会病院
院長 井上 和人

病院は社会の公器
地域へ開かれた病院を
目指します。
よろず相談歓迎

大和に開院されて40年以上が経ちます。ここまで発展して来れたのも地域の皆様のご支援のお蔭と感謝申し上げます。令和元年には新築竣工なり、装いも新たに設備も拡充されました。令和3年には井上和人院長をお迎えし、新体制がスタート、医師はじめスタッフも充実、身近な医療から高度医療まで一貫して地域の皆様のご要望にお応えできる態勢が出来上がりました。

恵まれた環境の中で皆さまへ最善の医療をお届けできるよう職員一同努力してまいります。



大和徳洲会病院
名誉院長 清水 正法

地域社会との連携を一層強化し 高齢化社会に適応した医療を



高齢化社会にともない、急性期医療だけでなく予防やリハビリ、介護などが必要とされています。
わたしたちの役割は地域社会と連携することにより、この時代に合った医療を実現させることです。

健診センター

早期発見。早期治療。

当院では豊富な知識と経験をもつスタッフによる、最新の医療機器を駆使した人間ドックを提供しております。
40歳以上の方はもちろんのこと、今まで健康診断を受ける機会の少なかった主婦の方などには特に受診をお勧めします。人間ドックの受診がご自身の健康を見つめ直す機会となることを願っております。



1

最新鋭の医療機器

2

病院で検査する安心

3

多様なニーズに応える健診メニュー

4

徳洲会グループによるバックアップ

健康管理センター（直通） ☎046-262-6400

電話予約14:00~16:30
月~土（日・祝を除く）

CT *Computed Tomography*

当院はCT2台体制で検査しております。待ち時間少なくご案内できます。GE64列CT (Revolution Frontier) は、最新技術のDual Energyが撮影可能。Canon320列CT (Aquilion ONE) は、最大16cmを1度に撮影可能とし、心臓検査ならびに脳血管の灌流評価も可能です。



MRI *Magnetic Resonance Imaging*

MRI はMagnetic Resonance Imaging の略で磁気共鳴断層撮影を意味します。磁気と電磁波の力を利用し画像化する検査で、X線を使用していないので放射線の影響を受けない検査になります。従来のアナログからデジタル信号に変わりノイズの影響が少なく高分解能な画像が得られるようになりました。

当院ではSIEMENS社製1.5T MRI Sempra装置を導入しております。頭部検査を始め、全身DWIBS、乳線MR、前立腺、心臓MR など多項目の検査を可能としております。



乳腺撮影 (マンモグラフィー) *Mammography*



マンモグラフィーとは乳房のレントゲン撮影のことになります。乳房専用の装置を使って、乳癌の初期症状である微細な石灰化や小さなしこりなどを早期発見することができるとの検査です。

当院では、3Dマンモグラフィー (トモシンセシス) が撮影できるSIEMENS社製

MAMMOMAT Inspirationを導入しており、従来の2Dマンモグラフィでは乳腺に隠れて見えなかった病変も描出することが可能になります。

※撮影は当院女性技師が行います。

da Vinci *ダヴィンチ* **da Vinci Xi** SURGICAL SYSTEM

患者さんの負担が少ない低侵襲の術式が可能な遠隔手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しています。

ダヴィンチは高画質で立体的な手術画像のもと、人の手の動きを正確に再現する装置になります。医師は安定した術野の維持、視野確保ができ、より直感的で微細な鉗子の操作ができることで、従来の前立腺がん手術では困難とされていた、尿道と膀胱の吻合も正確に行う事ができます。

手術を安全に行うためにも、とてもメリットのある装置といえます。



da Vinci

患者様の権利

- 1 患者様は、年齢・性別・国籍・宗教などに関わらず、礼儀や思いやりのあるケアを受ける権利があります。
- 2 患者様は、虐待・無視・侮辱のない安全な環境で治療を受ける権利があります。
- 3 患者様は、意思決定をできなくなる可能性がある場合、治療やその他の決定権をもつ代理人を事前に決める権利があり、治療の決断ができない場合は、患者様に代わり決断する人を選ぶことができます。
- 4 患者様は、入院中に患者様家族などの付添人を感情面のサポートとして依頼する権利があります。付添人は、他の患者様・病院職員の権利・安全または健康を尊重し、維持するようにしなければなりません。
- 5 患者様は、面会を拒否することができる権利があります。
- 6 患者様は、処置や治療を受ける（緊急時含む）場合、可能な限り前もって、治療内容ばかりでなく、リスクや合併症、他の治療方法についても説明を受ける権利があります。また、緊急時以外でも書面での十分な説明に基づく同意を受ける権利があります。
- 7 患者様及び患者様家族や代理人は、法律で認められている範囲内で治療を拒否する権利があります。治療やケア、および提供されるサービスについての決定に参加することができます。ただし、主治医の助言に反して病院を去った場合、発生しうる医学的結果の責任を病院や医師が負うことはありません。
- 8 患者様は、受けるケアや治療についての意見を表明する権利があります。
- 9 患者様及び患者様家族や代理人は、当院での診断・治療方法についてセカンドオピニオンを受ける権利があります。
- 10 患者様は、医学的に必要とされていない隔離や制限を拒否する権利があります。
- 11 患者様及び患者様家族や代理人は、退院計画の決定に参加する権利があります。更に、想定される退院時の状態にあわせて、退院や転医する施設、今後必要となるサービス等について診療情報の提供を受けることができます。
- 12 患者様は、治験や臨床研究への参加を問われたとき、同意または拒否をする権利があります。また、同意した場合はいつでも同意を撤回することができます。
- 13 患者様は、プライバシーが守られ個人の尊厳が保たれています。
- 14 患者様及び患者様家族や代理人は、医療費とその公的援助に関する情報を受ける権利があります。
- 15 カルテ開示条件は、あらかじめ決められている開示条件を満たす者にのみ可能です。
- 16 患者様の同意なしには、個人の情報を直接医療にかかわる医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
- 17 病院や診療に対する不満がありましたら、患者相談窓口（医療サポートセンター内）へ相談する権利があります。

患者様の義務

- 1 患者様の氏名・生年月日・住所・電話番号・健康保険などの情報、病状等については正確な情報をお伝えください。
- 2 患者様は、診療情報提供書や診断書等をお持ちの場合、病院又は医師へ提出ください。
- 3 患者様は、治療中に心身に変化や問題を感じられた場合、出来るだけ早く病院職員にその旨をお伝えください。
- 4 患者様は、採用された治療方針に従い、病院と協力して治療効果をあげられるよう努力をお願いいたします。
- 5 患者様は、時間通りに来院し、予約時間を守れない場合には、病院へその旨をご連絡ください。
- 6 患者様は、適時に自身の治療費をお支払いください。
- 7 患者様は、病院の規則を守り、他の患者様の治療や入院生活に支障を与えないようにご配慮ください。その具体例を列記いたしますと以下のとおりとなります。
 - (1) 大声を出さない。
 - (2) 暴力を振るわず、暴言を吐かず、他人を脅かさない。
 - (3) 敷地内でタバコを吸わない。お酒を飲まない。
 - (4) 病院職員の指示に従う。
 - (5) 病院職員に、その職務以外のことを頼んだり、命じたりしない。
 - (6) 入院に必要な物品のみ持参し、貴重品は持ち込まない。
 - (7) 面会のルールを守る。
 - (8) ラジオやテレビの音量、携帯電話・スマートフォンの使用、照明等、周囲へ配慮する。
 - (9) 入院の継続をする必要がないと病院が判断した場合には、速やかに退院する。

個人情報保護等

個人情報保護に関する当院の方針

当院は、患者様に良質かつ適切な医療を提供するために、常に最善の努力を行います。

そのために、必要な範囲内で適正に、個人情報を取得・利用・管理し、正確かつ最新の内容に保つよう努めます。

そして患者様の同意なくしては、法と当院が定めた目的以外に個人情報を利用することは一切いたしません。

また個人情報保護のための安全管理に日々努め、取り扱いに関しての苦情に対しては、適切かつ迅速に対処いたします。

患者様の個人情報の利用目的及び利用範囲

1 患者様等への医療提供

- | | |
|---|------------------------------|
| ①病院での医療サービスの提供 | ④患者様の診療のため、外部医師等の意見・助言を求める場合 |
| ②他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者との連携 | ⑤検体検査業務等の業務委託 |
| ③他の医療機関からの紹介への回答 | ⑥ご家族様等への病状説明 |

2 診療費請求のための業務

- ①病院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
- ②審査支払機関または保険者へのレセプト提出
- ③審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ④その他、医療・介護、労災保険、公費負担医療に関する診療費請求のための利用

3 病院の管理運営業務

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ①会計・経理 | ⑤その他、病院の管理運営業務に関する利用 |
| ②医療事故等の報告 | ⑥上記各号の業務を遂行するために必要な業務委託 |
| ③当該患者への医療サービスの向上 | ⑦院内の安全管理・防犯対策 |
| ④入退院等の病棟管理 | |

4 院外への情報提供

- ①企業などから委託を受けて行う健康診断等における企業等へのその結果の通知
- ②医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社などへの相談または届出等
- ③医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料、およびその業務を遂行するために必要な業務委託
- ④病院内において行われる医療実習への協力
- ⑤医療の質の向上を目的とした病院内での症例報告並びに臨床研究、およびその業務を遂行するために必要な業務委託
- ⑥地域がん診療連携拠点病院として必要な院内がん登録および外部関係機関への情報提供
- ⑦外部監査機関への情報提供
- ⑧法令に基づく警察、裁判所、消防等公的機関への情報提供・調査報告
- ⑨その他、患者様への医療サービス提供および医療保険事務に関する利用
- ⑩臨床研究のためのデータ収集や学会、研究会、学会誌などの報告への医療情報を匿名化し利用
- ⑪医薬品等の安全対策に資するため、厚生労働省および独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する医療情報データベース基盤整備事業に、医療情報を匿名化し提供
- ⑫災害対策のための遠隔地における診療データの外部保管
- ⑬当グループ法人が、グループ共同倫理委員会で承認した疫学研究における臨床データ分析結果を匿名化し提供

個人情報の安全管理について

- ・個人情報保護のための組織体制を整備し安全管理を徹底します。
- ・個人情報の管理が十分に図られるよう職員に対し必要かつ適切な監督と教育を行います。
- ・当院の利用目的の中で同意しがたいものがある場合には、あらかじめ患者様の明確な同意を得よう当院に求めることができます。また同意および留保はその後患者様からのお申し出により、いつでも変更することが可能です。

医療安全管理体制について

質の高い医療を提供するために、医療安全を最優先した組織体制が整備されています。

また病院長を医療安全推進のリーダーとして、全職員が協働した医療安全推進活動があります。

患者相談窓口と医療安全管理者は連携し、ご意見をもとに改善に向けて活動しております。

専従の医療安全管理者による医療安全に関するご相談は随時対応しています。

医療安全に関する活動により、患者さんとその家族の方々との信頼関係を築けるように、努めてまいります。



感染対策チーム〈ICT〉 ～感染対策活動にチーム一丸となって取り組んでいます～



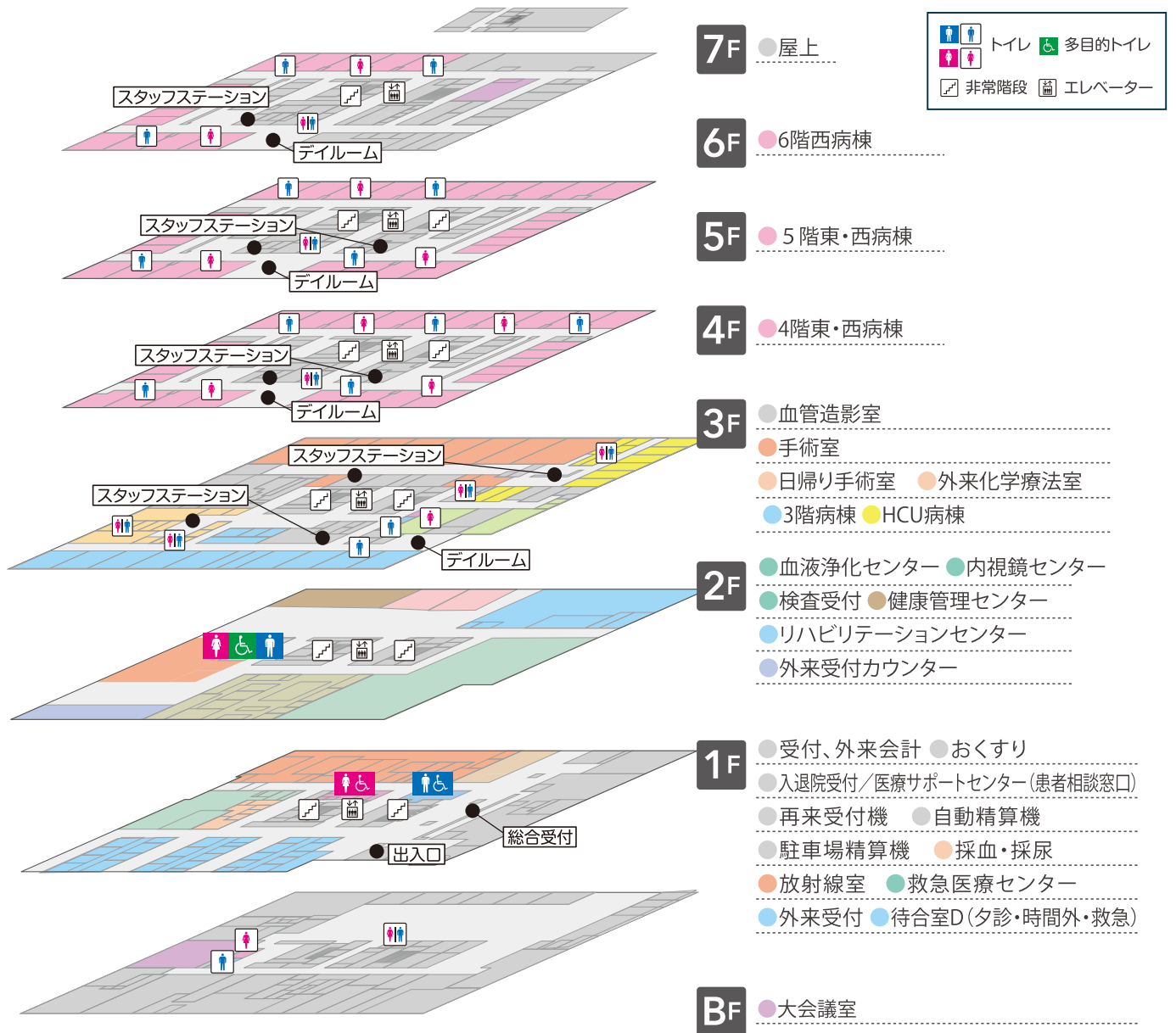
感染対策チーム（Infection Control Team：ICT）とは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などが専門的な知識を活かし、病院を訪れる全ての人や職員を感染から守る活動を行うチームのことです。活動内容は感染対策の問題点の解決や院内ラウンド、地域病院とカンファレンスなど多岐にわたります。私達は感染対策の相談がしやすいように現場とのコミュニケーションを大切に活動しています。また、定期的に研修会を開催し、全ての職員が適切な感染対策を実施できるように努めております。

チームワークの良さが当院の誇り

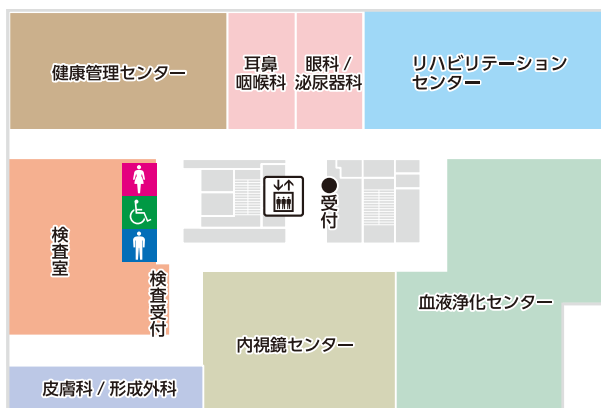
治療のためには医師だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリのスタッフ、ヘルパーに至るまで医療に従事する多くの関係者がチームとなって対応することが重要です。そのために頻繁に情報を共有し、チームで治療に当たる態勢づくりが欠かせません。当院は総合病院としては小さいですが、こうした連携が非常に良く、とてもいいチームワークを発揮しています。



フロアマップ



2F



1F

